

50歳以上の方へ

令和5年6月から
申請を受け付けます

たいじょうほうしん

带状疱疹ワクチン予防接種費用の助成が始まります

带状疱疹ってどんな病気？

子どものときに感染する水ぼうそうのウイルスが原因で、治ったあともウイルスが体内に潜伏し、加齢、疲労やストレスなど免疫力低下によって带状疱疹を発症します。（50歳代から高くなり、80歳までには約3人に1人の方が発症すると言われています）発症すると、体の左右どちらかの神経に沿って、痛みを伴う赤い斑点と水ぶくれが帯状に生じます。50歳以上の約2割は長い間痛みが残る带状疱疹後神経痛（PHN）になる可能性があります。

带状疱疹になりにくい体づくりのために、食事のバランスや、しっかり睡眠をとるなど、日ごろから体調管理に心がけ、免疫力を低下させないことが大切です。



助成回数や助成金額等について

ワクチンの種類	接種回数	町内の医療機関	町外の医療機関	効果と副反応
シングリックス (不活化ワクチン) 筋肉注射	2	接種費用 22,000 円の 1/2 を 2 回まで助成しま す	接種費用の 1/2 を 2 回 まで助成します (ただし 1 回の上限 10,000 円)	発症予防効果は90%以上 と高いが注射部位の腫れや 痛みなど副反応が強い
ピケン (水痘生ワクチン) 皮下注射	1	接種費用 8,000 円の 1/2 を 1 回助成します	接種費用の 1/2 を 1 回助 成します (ただし上限 4,000 円)	発症予防効果は約50%と シングリックスより劣るが 副反応は少ない

- 対象者**
1. 設楽町に住民票登録がある
 2. 接種日に 50 歳以上である

ご注意・シングリックスは 2 か月（遅くとも 6 か月）あけて 2 回接種します。

- ・助成を受けるには事前申請が必要です。令和5年6月からしたら保健福祉センターで申請を受け付けます。詳しくは裏面をご覧ください。
- ・インフルエンザのように毎年助成するものではありません。一生に 1 度です。
- ・带状疱疹ワクチン予防接種については、医師に相談しましょう！



事前申請の流れ

1. 医療機関で医師に相談

2. したら保健福祉センターで手続き

- ①接種券の申請
- ②接種券と予診票を受け取る

3. 医療機関に予約をする

町内の医療機関

月新堂医院・伊藤内科・
つく診療所

4. 接種

費用の差額分を支払う

- 申請は本人または家族もできます
- 申請書はホームページにも掲載しています
- 申請書の提出は、したら保健福祉センター
窓口、郵送またはFAXで受け付けています

町外の医療機関

4. 接種

費用の全額を支払う
領収書・予診票をもらう

5. 請求書を提出

したら保健福祉センターへ提出
(添付書類：領収書及び予診票)

6. 指定口座に接種費用の一部が振り込まれます

問い合わせ先【したら保健福祉センター】

〒441-2301

設楽町田口字向木屋4番地

電話 0536-62-0901

FAX 0536-62-0902